

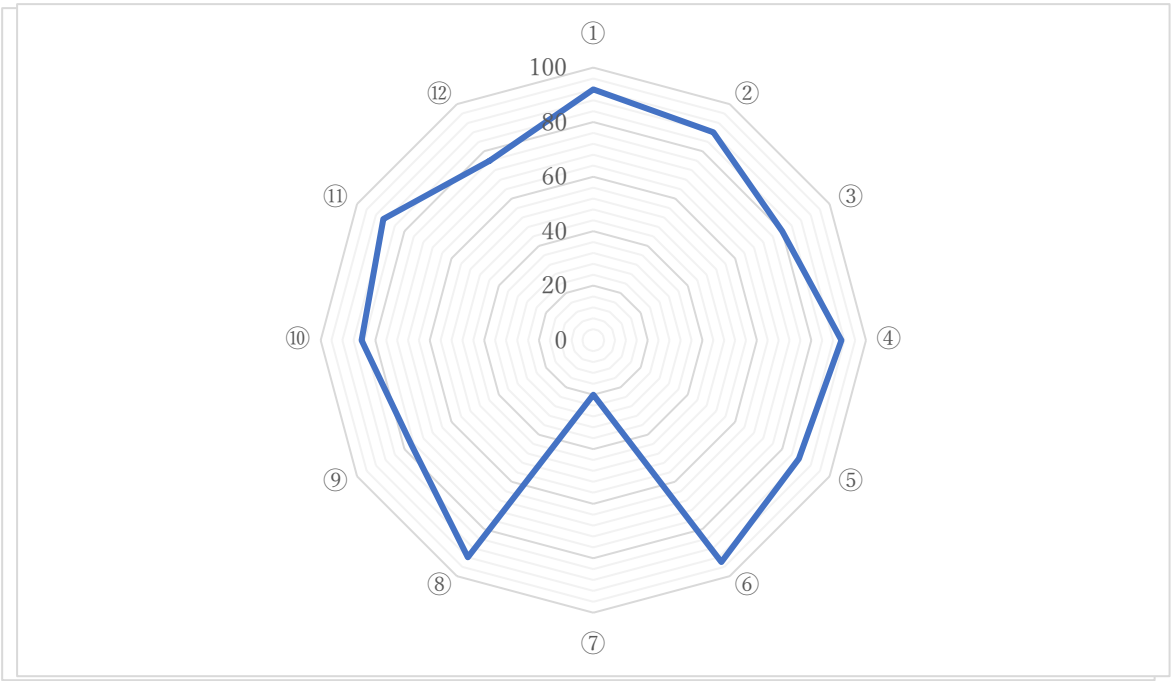
自己評価集計結果

＜評価方法＞

評価を4段階とし、項目を①~⑫に分け、それぞれの合計点をだす。

下記の集計表及びレーダーチャートは、回答した保育者の点数の平均点を表示している。

		R7 9月 回答数 13名	R6 2月 回答数 14名
評 価		平均点	平均点
I 保育の基本的理念と実践に係る観点	① 子どもの最善の利益の考慮（6項目）	92	92
	② 子どもの理解（9項目）	88	91
	③ 保育の環境（人・物・場）の構成（7項目）	80	79
	④ 保育士等の子どもへの関わり （援助・行動・言語・位置・タイミング・配慮等）（7項目）	91	87
	⑤ 育ちの見通しに基づく保育（8項目）	87	87
II 家庭及び地域社会との連携や子育て支援に係る観点	⑥ 入所する子どもの家庭との連携と子育て支援（8項目）	94	92
	⑦ 地域の保護者等に対する子育て支援（4項目）	20	18
	⑧ 地域における連携・交流（4項目）	92	90
III 保育の実施運営・体制全般に係る観点	⑨ 組織としての基盤の整備（8項目）	77	81
	⑩ 社会的責任の遂行（3項目）	85	85
	⑪ 健康及び安全の管理（12項目）	89	90
	⑫ 職員の資質向上（6項目）	79	76



まとめ

【③保育の環境（人・もの・場）の構成】年中・年長児は図鑑を購入し、興味関心の幅を広げていきたい。保育に関しては、今後、縦割りで3～6チームに別れ活動する日を設け、クラスを超えて色々な視点で見守り、互いに認め合い支え合っている環境作りを行う。【⑥入所する子どもの家庭との連携と子育て支援】担任・園長面談については、母との面談はそれぞれの担任が行っている為、園長面談については、父との面談のみになる。（令和8年度から開始）また、保護者からの意見がある場合など、ホームページ上に匿名で意見BOXを置く事ができないか検討。【⑪健康及び安全の管理】食生活改善について、レシピカードを作る・子ども達が好きな給食メニューの紹介などを計画。家庭でも取り入れやすいよう、具体的な工夫を伝え、食事の大切さについて保護者と一緒に考える機会を増やしていきたい。